

お前がいつか出会う災いは、お
前がおろそかにしたある時間の
報いだ むく
—ナポレオン※



※ナポレオン・ボナパルト(1769-1821)…革命期のフランスの軍人・政治家。フランス革命後の混乱を收拾して、フランスの独立を守った。貧しい貴族の出身ながら皇帝の地位までのぼりつめ、イギリスとオスマン帝国の領土を除いたヨーロッパ大陸の大半を勢力下に置いた。

◆萌学舎卒業生の「わが校」紹介 共立女子中学高等学校 2015年卒 黒沢理紗さん
(日本女子大学人間社会学部教育学科1年)

共立女子中学高等学校は、2006年より、完全中高一貫校です。都心にあるため、交通の便がよく、志木駅からは50分程です▼勉強面については、定期試験で合格に達しないと、追試や補習になります。英語や数学は特に重点的に行われています。6年間の前半4年は基礎の定着、高2からはコース別に受験に向け細かな学習指導が行われます。長期休暇中の講習は、自分の好きな講座を受講することが可能です。高3の1月には、予備校でも授業がなくなるので、特別編成授業というものが行われ、参加は自由です▼学校の雰囲気については、一学年8クラスで300人程のマンモス校なので、行事などは大規模に行われます。また、文化祭だけは中高合同の行事なので、学校全体が活気に満ち溢れます。先生と生徒の関係は、友達同士みたいでは全くありません。先生と生徒の線引きがきちんとしてあるところが良いところだと思います。友人関係については、中学では、クラス内がいくつかのグループに分かれていると感じていましたが、高校に入ると、休み時間なども一人で勉強する人が増えてくるので、グループで行動しているという印象は少ないです。部活動は、ほとんどが中高バラバラに行っていて、太極拳部、山岳部、歩行部、能楽部、映画部など、他校にはないようなものもいくつかあります▼進路指導については、何回も講堂に集められ、受験校の決め方や、入試の日程の組み方などの念入りな指導を受けます。コース別に分かれ、受験を終えた先輩方に、勉強の仕方、参考書の選び方などを聞く機会も数回設けられています。また、進路指導室では、担当の先生に進路の相談をしたり、自由に赤本をコピーすることができます。進学については、共立女子大学の併設校として、特別推薦優遇措置という制度があり、合格を持ったまま

入学手続きをせず、安心して他大学に挑戦することが可能です▼実り多い学校生活を送ることができる学校だと思えます。



『想像ラジオ』 (河出文庫) itou sei kou 著 加藤 国夫

現在公開されている映画『エベレスト』は3Dによって「エベレスト」が体感できるそうですね。私たちは現在、そういう技術によって手軽に作品世界に没入できるようになっています。想像力を起動させる「仕掛け」は映画だけでなく、あらゆる作品に仕込まれています▼東日本大震災のあと、津波の被害にあった子供たちの作文集『つなみ』や、被害を乗り越えて製紙工場を再稼働させた経緯が書かれたノンフィクション『紙つなげ！彼らが本の紙を造っている』を私はこの欄で紹介してきました。今回紹介するのは、音楽・舞台・テレビなどで活躍しているitou sei kou氏によって書かれた、震災をテーマにした小説です。itou sei kou氏は日本のヒップホップ音楽の先駆的存在です。YouTube でなんと 1986 年の音源が聞けますので興味のある人はどうぞ▼『想像ラジオ』の主人公、ラジオ・パーソナリティの「DJ アーク」がどういう人物なのかを紹介してしまうと、この作品に仕込まれた「仕掛け」がうまく働かないような気がします。「DJ アーク」が味わっている「わけのわからなさ」を「体感」するためには先入観を持たずに読み始めるのがいいと思います。これではほとんど本の



紹介になっていませんが…。代わりに、この本と同様に先入観なしで読んでほしい本をあと 1 冊紹介しておきます。**カズオ・イシグロ氏の『わたしを離さないで』**(土屋政雄訳,早川書房)です。ある施設で子供たちが育てられているのですが、その子供たちが感じている「わけのわからなさ」を味わってほしいと思います。読み進めるにつれて真相が明らかになります。カズオ・イシグロ氏は 1954 年長崎生まれ、5 歳のとき父親の仕事の関係でイギリスに渡り、その後英国籍を取得。現在、イギリス文学の代表的作家になっています。
※ここで紹介された本は萌学舎文庫(自習室の本棚。2 週間貸出)にあります。

◆ 行事予定

- 12/6 首都圏模試, 北辰テスト □ 12/7,8 総合テスト(年間予定表からは変更になっています)
- 12/13 駿台模試 □ 12/21 2 学期最終日 □ 12/22 休講(事務営業日)
- 12/23,24 入試特別講座(小 6 受験, 中 3) □ 12/26~ 冬期講習 【編集/加藤】